



よきかな若人

2019-12-13

☆後期人権教育旬間に寄せて☆

11月は後期人権教育旬間でした。前期人権教育旬間に引き続き、部落差別の問題、男女の性差別の問題、高齢者・障がい者の社会福祉の問題、在日外国人の問題、HIV感染者やハンセン病などの医療に伴う問題、SNSの問題など、様々な人権問題を学習しています。

旬間に先駆けて、生徒会主催の人権にかかわる集会が開かれました。それぞれの委員会ごとに日常の生徒会活動における「やりとり」や「言葉遣い」についての問題点を見つけ出し、相手意識を持った「やりとり」や「言葉遣い」について考えあいました。

旬間初日の校長講話では、次のような話がありました。



今日は、皆さんにちょっと考えてみてほしいことがあります。

「私は、僕は、今まで誰にも足を踏まれたことはなかったか」
「私は、僕は、今まで一度も誰かの足を踏んだことはなかったか」

「足」とは、「その人の存在」「その人の尊厳・命」「人権」のことです。私もありました。足を踏まれたことも、足を踏んでしまったことも。きっとこれまでに何度もあったと思います。軽く踏まれたことから、グサッと重く踏まれたこともありました。一方で、逆もたくさんあったと思います。

人権を軸にして考えると、一人の人間の中に「被害性」（足を踏まれる側の自分）と、「加害性」（誰かの足を踏んでしまう分）がいます。もちろん十分に気をつけようとしてもです。身の周りや社会を見回して見ると、ここにも、そこにも、あそこにも差別や偏見があります。人権の問題は、遠くの高い所にある「額縁」の中に入れるのではなく、自分に引き寄せて、「私は？」と考えることでお互いの生活の中に呼吸するもののように息づくものだと思います。

「人権の答えは、いつも私の、あなたの、心の中と行動の中にあります。」

お互いを大事にするひとつの姿勢のようなものを紹介します。

*Don't walk behind me, I may not lead.
Don't walk in front of me, I may not follow.
Just walk beside me, And be my friend.*

私の後ろを歩かないでください 私はあなたを導かないかもしれないから
私の前を歩かないでください 私はあなたについていけないかもしれないから
ただ僕の横に並んで歩いてほしい そして友だちでいてほしい

これはフランスの小説家・劇作家のカミュの言葉です。

「人権の答えは、いつも私の、あなたの、心の中と行動の中にあります。」

職員も「飯中ニコニコ大作戦」と称した職員研修ワークショップで、お互いの良いところ探しを行い、自己理解・他者理解を深め、同僚性を高めました。



また、第2回飯綱町保小中高人権教育連絡協議会が開かれ、2年生の社会科の授業から子どもたちとともに人権について考えました。

生徒・職員共々、正しい知識や正しい認識をしっかりと身に付け、差別や偏見を生み出さない学校づくり、そして、ひとりの人間として、どう生きるかをより深く考えて行動に移すことのできる人格の育成に努めて参ります。

<裏面もご覧ください>

☆被災地に思いを寄せる☆

長野県に甚大な被害を及ぼした台風19号。近隣の学校も大きな被害を受けました。校区でも倒木や停電などの被害がありました。

ボランティア活動に参加した生徒がいます。職員も被災した学校の支援に足を運びました。

生徒会では、自分たちがができることとして、奉仕委員会・生徒会総務が中心となり、アルミ缶収集を行いました。全校生徒の協力により、多くのアルミ缶が集まりました。今後、義援金として、被災した学校へ届ける予定です。

音楽集会では、全校で「花は咲く」を歌いました。歌を通じて、被害を受けた地域、被災した人々に思いを寄せ、また、自分のできることは何か、普通の生活ができることは幸せなことであることを感じながら、それぞれの想いを歌声にのせました。

－「思いを寄せることも復興・復旧に向けて前へ進む力となる」
(長野県防災のTwitterより)



☆学習の様子から☆

【1学年】

総合的な学習の時間では、「いいつなAAAコマースプロジェクト」の学習を進めています。飯綱町の特産物であるりんごを使いシードルづくりを通して、農業や醸造についてはもちろん、社会の仕組みや仕事に対する姿勢を学んでいます。今後は、シードルの醸造実習、販売へと学習を進めていきます。

【2学年】

「働くこと」に対する理解を深めた第2回の職場体験学習が終わり、修学旅行に向けての学習がスタートしています。各クラスで修学旅行の班や係が決まり、係会が開かれました。今後、古都についての学習を深め、見学地等を決定していく予定です。

【3学年】

10月末、主権者教育「私のふるさと飯綱町～15歳の提言～」の集大成ともなる「中学生議会」が行われました。各グループでの調査追究活動をもとにプレゼンテーションを行い、政策提言を行いました。

【特別支援学級】

11月10日(日)、長野市のもんぜんぷら座にて「ふれあい展」が開催されました。長野上水内の特別支援学級の児童生徒の作品が展示され、また制作物の販売も行われました。飯綱中は、手作りミニクッションやアクセサリ、コースター、「かがふれふあーむ」で収穫したじゃがいもなどを出品しました。また、校内でも学習の一環として、収穫した大根やブロッコリーなどの販売も行いました。



☆後期学校評価へのご協力ありがとうございます☆

『3つの重点』;「学力」「コミュニケーション能力」「ふるさとを愛する心」を柱にした2学期の活動も終盤にさしかかっています。学校教育目標「自主・友愛・剛健」をより具体的な姿で追究していくために、後期の学校評価アンケートを行っております。2学期における学校の取り組みや生徒の姿や様子を振り返ってお答えください。ご協力よろしくお願ひします。また、すでに回答いただいた保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

飯綱町立飯綱中学校
教務主任 荒井 和之
電話 026-253-2244